

薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2017年
7月25日
第17号



キバナツノゴマ（ツノゴマ科）

園内第1圃場に見る華やかな黄色いの花が咲いています。この花を見ても？という人も。もしかしたら、この後にできる果実を、展示会や博物館でご覧になった事があるかもしれません。黒く長くカーブした爪をもつ、とても奇妙な実だからです。その名も「アクマノツメ」、「旅人泣かせ」等と呼ばれています。南米の乾燥地原産ですが世界中の半乾燥地帯に帰化し広がっているようです。嫌われものかと思われるこの植物、現地では、若い実を食用にしたり、鞣の繊維をカゴ細工などに利用するようです。「アクマノツメ」は10月頃現れるようです、ご期待ください！

ナツメ（クロウメモドキ科）

初夏に新芽がでるから夏芽（なつめ）中国から渡来し栽培されている落葉高木で左右対称の葉は光沢があります。今年3年ぶりに写真のような実をつけました。秋に暗褐色に熟し、リンゴ似た味で美味しいです。果実を乾燥させたものを生薬である大棗（タイソウ）といい、強壯、緩和、利尿、鎮痛（腹痛など、）鎮静を目的として用います。また、果実酒としても用います。なお上記の写真は、水上名誉教授の退職を記念して植えられたものです。

今、こんな草木が楽しめます
待ってまーす！！

薬草園ボランティアグループ

